

平成30年度小牧市レジ袋削減協議会総会議事要旨

会議の名称	平成30年度小牧市レジ袋削減協議会 総会	
日 時	平成30年5月25日（金）	午後2時～午後2時30分
場 所	小牧市役所東庁舎 会議室1-1	
出席者 （敬称略）	<p>【事業者】 梶田（ユニー(株)アピタ小牧店） 浅井（尾張中央農協）</p> <p>【市民団体】 酒井・吉田（小牧市女性の会） 日比野（こまき環境市民会議） 舟橋（小牧市区長会） 江崎（小牧市消費生活改善推進員会） 逸見（ひまわり消費研究会） 東谷（小牧市子ども会連絡協議会） 村田（小牧市小中学校 PTA 連絡協議会）</p> <p>【行政】 神戸（市民生活部長） 林（環境対策課長） 藤田（ごみ政策課長）</p> <p>【事務局】 神谷（政策推進係長） 山中（政策推進係主査）</p>	
傍聴人	0人	
配布資料	<p>小牧市レジ袋削減協議会設置要綱</p> <p>参加者名簿</p> <p>平成29年度活動報告</p> <p>平成30年度事業（案）</p>	

(司会林課長) それでは定刻になりましたので、ただいまより「平成30年度小牧市レジ袋削減協議会」を始めさせていただきます。

本日は、お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。

日頃より環境行政に格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、全国的に広がっておりますレジ袋の有料化が浸透しておりますのも一重に市民団体・事業者の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

会を始めます前に、今年度4月1日より事務局の人事異動がありましたので、事務局職員の紹介をさせていただきます。

(事務局自己紹介)

それではここから先の進行につきまして、酒井会長にお願いをします。

(酒井会長) 皆様こんにちは。お忙しい中ありがとうございます。暑い中皆様体調は大丈夫でしょうか。このレジ袋の会議も会を重ねておりますが、市民、事業者の皆様のご協力によりずいぶん浸透していると思います。私たちも買い物に行くときは必ずマイバッグを持って行きます。皆様の意識が向上していることに感謝いたします。

本日はいろいろと議題もありますので審議のほどよろしくお願ひします。

それではさっそく次第に移りたいと思います。議題(1)平成29年度活動報告について、事務局より説明お願ひします。

(事務局) 平成29年度の活動報告でございます。お手元の資料1ページをご覧ください。こちらは①から⑥まで平成29年度の活動についてまとめたものになります。

①として、昨年度の協議会についてですが、平成29年7月27日に総会を開催いたしました。

②と③として、広報こまきに事業者向けと市民向けの内容を別の時期に掲載しました。内容としましては、②については9月15日号広報でレジ袋削減協議会参加事業者とレジ袋収益金を市へ寄付いただいた事業者の紹介をしました。事業者にむけていますのでタイトルは「レジ袋削減を一緒に進めましょう」となっております。平成29年度7月現在での協議会参加店舗としまして、アピタ小牧店・桃花台店、アルプラザ小牧、清水屋小牧店、イオン小牧店、マックスバリュ小牧堀の内店・小牧駅西店、グリーンセンター桃花台店、くりの木ランチ、マルマツ、くりにんぐはしもとピエスタ店、ア

ミカ小牧店、ナガイスポーツ、以上 13 店舗となっております。また、平成 28 年度レジ袋収益金としてご寄付をいただきました寄付事業者として、ユニー株式会社アピタ小牧店・アピタ桃花台店それぞれの店舗から、株式会社平和堂 イオンリテール株式会社東海・長野カンパニー、マックスバリュ中部株式会社、以上の事業者のお名前を掲載させていただきました。ご寄付をいただいた事業者の皆様ありがとうございます。寄付金につきましては、環境啓発事業や再資源化促進事業の一部に充てさせていただきました。

同じく広報掲載ですが、③として、市民へのレジ袋削減への啓発について、10月1日号で、「買い物袋を持っていきましょう」のタイトルで、レジ袋有料化による環境への効果を掲載しました。

④として、外国人の方へマイバッグ持参の呼びかけとして、市の外国人向けの生活情報誌へ掲載しました。10月号の情報誌で英語・ポルトガル語・スペイン語・中国語・やさしい日本語で発行しました。内容については先ほどの③の10月1日号広報こまきと同じ内容です。

⑤としまして、小牧商工会議所所報「つつじ」へ事業者向けとしてレジ袋削減協議会への参加事業者募集について掲載依頼をし、9月号へ掲載していただきました。先ほど②で説明しましたが広報こまきへも事業者向けに掲載をしておりますが、商工会議所の事業者向けの所報紙へ掲載することにより、事業者へPRしました。

⑥としまして、昨年度総会において委員の方より、協議会に参加していたが今は脱退した事業者へ現在の状況などをアンケート調査したらどうかとの意見をいただきましたので7事業者へアンケートを送付しました。回答がいただけたのは2つの事業者のみでした。結果、2事業者ともレジ袋の有料化は行っておらず、レジ袋を使用する人が増えたと回答されています。ただ、1事業者についてはレジ袋が必要かどうかをレジで確認したり、レジ袋を軽量化したりと脱退後もレジ袋削減のための取組みは続けておられるとの回答でした。「すべての業種にレジ袋有料化の足並みが揃わない以上自社だけ取組みをすることは難しい」とのコメントもいただいております。また、回答がなかった事業者からは、「コンビニやドラッグストアなどやっていない業種が多い。小牧市のみで脱退したのではなく県内のすべての店舗で脱退した。協議会への参加は会議にでてほしいとか報告をしなければいけないとか寄付とかいろいろ負担が大きい」と感じているようで、協議会へ再度参加していただくことは難しいとのことでしたが、削減の取組み自体は続けているとのことのお話しをいただきました。

続きまして、5ページをご覧ください。こちらは平成29年度のレジ袋辞退率と平成20年度からの辞退率の年度比較となります。平成29年度のレジ袋削減協議会参加事業者の全体の辞退率は91%となっており、ごらんとおりの推移となっております。

6ページをご覧ください。こちらは辞退率91%が環境にどれだけ効果があるのかをまとめたものになります。上段は、平成20年2月に小牧市女性の会にマイバッグ持参についての出口調査を実施していただいたときの持参率が27.2%でしたので、購入率を72.8%とし昨年度のレジ通過者総数等からレジ袋購入の枚数に換算したもので、下段が協議会参加事業者の方にご協力いただき、昨年度のレジ袋の購入状況等のご報告をいただきました枚数で、その比較をしたものとなります。レジ袋辞退率としては、平成20年の出口調査のときの27.2%から今年度は91%ですので、63.8%のアップとなっております。レジ袋の購入枚数としては4,828,655枚の削減となりました。レジ袋1枚あたりに使用される石油量が18.3mlとされており、削減された購入枚数が4,828,655枚ですので石油換算すると88,364リットル、1缶200リットルのドラム缶にしますと約442本分にもなります。またレジ袋1枚あたりのCO2排出量は約61グラムとされており、これを今回の購入枚数にしますと294,548キログラムが削減されたこととなります。当協議会参加事業者の皆様、ご協力ありがとうございました。

7ページは先ほど広報掲載記事の説明をさせていただいた際にも報告しましたが、レジ袋収益金を市に寄付していただいた事業者一覧になります。3事業者5店舗よりご寄付をいただきましたのでご紹介させていただきます。

以上で議題(1)平成29年度活動報告のご説明とさせていただきます。

(酒井会長) ありがとうございました。説明は終わりましたが、どなたかご質問等はありませんでしょうか。よろしいでしょうか。ご質問がないようであれば次に移らせていただいてもいいでしょうか。それでは議題(2)平成30年度事業(案)について、事務局より説明をお願いします。

(事務局) 平成30年度事業計画案について、お手元の資料9ページをご覧ください。平成29年度の活動は先ほどご紹介したとおりですが、今年度も、市民向け啓発として生活情報誌及び広報こまきへの掲載、市のホームページへの掲載を考えております。また、参加事業者募集として、商工会議所発行の情報誌「つつじ」へ、参加募集の掲載を7月号掲載でお願いしております。

以上で議題（２）平成３０年度事業（案）についての説明とさせていただきます。

（酒井会長） はい、ありがとうございました。ご質問があればお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。質問がないようであれば次に移らせていただきます。次に３番、報告について、事務局よりお願いいたします。

（事務局） お手元の資料１１ページをご覧ください。こちらは平成３０年４月現在の協議会参加者名簿です。前年度からの変更点としましては、協議会脱退事業者として、平和堂さんが小牧市から店舗撤退されましたので脱退となっています。これにより１０事業者、１２店舗が当協議会参加事業所となります。

お手元の資料１３ページをご覧ください。こちらは小牧市レジ袋削減協議会の要綱です。昨年度から変更はありません。

以上で報告とさせていただきます

（酒井会長） ありがとうございました。何かお聞きになりたいこととかありましたらお受けいたしますが、ご意見等ありましたらどうぞよろしくお願い致します。

（市民団体） 事業計画というのがありますが、会計報告というものはないのですか。

（酒井会長） 事務局お願いします。

（事務局） こちらの会は会費をいただいているということなどもないので会計報告としては特にはないです。

（市民団体） 寄付がありますよね。ご寄付がどれくらいで、せっかく寄付をいただいているのでどんなことに利用されているとか。

（事務局） アピタ小牧店から 169,229 円、アピタ桃花台店から 177,754 円、マックスバリュ中部から 12,312 円、イオンリテールから 9,439 円、以上の金額をご寄付いただき、環境啓発事業等に充てさせていただきます。

（市民団体） 市から助成金とか補助金とか活動費はないですか。

（事務局） ありません。寄付金も協議会で収入を受けたわけではなく、小牧市として収入を受けておまして、それを環境事業基金に積立てをして環境事業に充てておまして、この協議会としては全く収入とか支出はありません。

（市民団体） これに特化したものはないということですか。

（事務局） そうです。

（酒井会長） この会としてはお金は一切くぐっていないということでもあります。

（市民団体） 商工会議所とか啓発をしているようですが、これは商工会議所持ちでやっているということですか。

- (事務局) 商工会議所が会報を出しているところに記事を載せてもらっているということです。会報自体は毎月出していらっしゃるの、うちのほうがお金を払って載せてもらっているということではなく、依頼をして好意で載せてもらっているということです。
- (市民団体) ポスターとか出していないのですか。
- (事務局) ポスターは5年程前に市の予算で作成して事業者さんに配布し、店舗に貼っていただくように依頼をしました。
- (市民団体) それは参加事業者へ依頼をしたということですか。
- (事務局) 参加事業者以外へも依頼しました。まだ今でも貼っていただいている事業者さんもあります。先日グリーンセンターさんへ行ったときも貼ってあったと思います。
- (市民団体) それでも参加事業者はどんどん減ってしまっているんですね。
- (事務局) 先ほどもアンケートのお話しをさせていただいたのですが、会社の方針であったり、ドラッグストアだと自分のところだけ有料化しているとどんどん有料化していない他店にお客さんが流れてしまうので、やはり競争でありますので難しいという話はいただいております。
- (市民団体) 有料化じゃなくても削減ということなので、レジ袋に入れないということが影響してくるということですか。
- (事務局) 有料化しないとなかなか削減は難しいところなのですが、有料化してしまうと無料で渡している店にってしまうお客さんが多いということで会社の方針で有料化はできないということなのですが、その中でも先ほどお話をしましたが、レジ袋は要りますかと聞いたり、渡すレジ袋を軽量化したりという削減の取組みは行っているというお話しはあります。
- (市民団体) コンビニでも聞かれるところと、ペットボトル1本でも入れてくれるところがあって、入れてくれなくてもいいけど最初から入れられちゃうので途中でいいですよってということもあるんですが、レジ袋削減なんて、店舗は何も考えていないんじゃないかと思うこともあるんですよ。
- (事務局) コンビニだとほぼ全てのコンビニ、コンビニエンス協会ですか「レジ袋を削減しましょう」というポスターが貼ってありますので団体としては行っているんですが、それが末端の店舗まで伝わっていない。バイトも大勢いますので。
- (市民団体) 聞かれる店舗はいつ行っても聞かれるし、そうでないところはいつ行っても聞かれない。そのあたりの啓発はどうなっているのかなと袋を断るときにいつも思うんです。
- (酒井会長) それではどなたかご意見ご質問はありませんか。ご意見もないよう

です。議題 1、2 と報告については全て終了しました。改めてお聞きしますが何かありませんか。ないようでしたらその他に事務局から何かありますか。

(事務局) 総会の開催についてご提案をさせていただきます。協議会が発足してから毎年 1 回総会を開催しておりましたが、約 10 年が経過してレジ袋有料化による効果も一定の成果をあげていると考えています。そこで、啓発活動や削減効果の集計などの活動は継続していき、協議会としては存続しますが、総会という会議の開催については必要なときに招集するという形に見直してはどうかと考えております。いかがでしょうか。

(酒井会長) 今、課長からありましたが、会は存続しますが会議を定期的に関くことを見直そうというご提案ですが、皆さんいかがでしょうか。

(事務局) 要綱上は必ず総会は定期的に行うということではなく、会長が招集するとなっております。

(酒井会長) 特別に何かあったときは招集して会議を開くということで、定期的な会議を中断というか保留というかどうかという言い方がいいのか、そういう形でもよろしいでしょうか。お時間をとって集っていただくのも事業所のかたもたいへんですし、各団体のかたもたいへんだと思います。もし何か尋ねたいときは環境対策課やごみ政策課へお尋ねいただければいいので、課長の案にご賛同いただけますでしょうか。

(委員) 賛成

(酒井会長) 皆さんご賛同いただいたということで、事務局お願いします。

(市民団体) これはごみ減量の一環でもあるんですよね、レジ袋に特化してますけど。

(事務局) そうですね、資源の削減につながっていくということです。

(酒井会長) 慎重にご審議いただきありがとうございます。議事は全て終了いたしました。以上をもちまして平成 30 年度小牧市レジ袋削減協議会を終了いたします。本日はありがとうございました。